

桜梅桃李

大島町立第一中学校

2学年 学年通信

R4.5.18 第13号

アートの役割ってなんだろう

5月11日(水)に研究授業が行われました。本校では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて生徒が互いに学び合う「協同学習」を各教科で実践しています。今回は美術の授業で、パブロ・ピカソの「ゲルニカ」の鑑賞を通して“アートの役割”について考えました。



まず初めに作品の詳細は明かさず、まっさらな気持ちで作品と向き合いました。作品の第一印象を問うと、『不思議、怖い、不気味、モノクロの表現、幾何学と人体と動物、二次元、現実にはありえない形、変な顔、気持ち悪い、罪悪感がわいてくる、独特、こんがらがってよく分からない、細かいところまで面白い、自由自在な感じ、お化け、地獄みたい、戦争の感情…』と多様な角度から様々な言葉が出てきました。そしてこの作品を目にしたとき多くの人が共通して負の感情を抱くことに気付きました。



次はグループで作品の細部をより丁寧に見て、何が描かれているか、そこからどんな印象を受けるかを話し合いました。『人が倒れていてその上に動物がいる、人間と動物の立場逆転？亡くなっている人の手に剣、戦争？悲しみがあつた感じがする。上の電気が目に見えてきた。これは作者の目？神様の目？宇宙人の侵略じゃない？いや、この電気は爆弾だと思う…』2年生の発想力は留まることを知りません。



続いて、この作品が描かれた経緯や時代背景を知り、ピカソは「ゲルニカ」を通して何を訴えたかったのか、また、何故モノクロで表現したのか自分なりの考えを想像し共有しました。『戦争というものは怖くて、悲しくて、怒りがこみあげてくるものだと伝えたかった。絵の具も全色混ぜると黒になるから、いろんな感情が混ざっているのだと思う。罪のない人が巻き込まれた辛さ、どこにも言えない苦しさを描いた。もし色を付けるなら、怒りの赤、悲しみの青？人間以外にも悪い影響を与えて、失うものしかないと伝えたかった。建物が倒壊した粉塵が街を包んでいたから灰色の世界なんだと思う。モノクロはお葬式のイメージ。追悼の意味なのでは？悲しみのあまり何も感じなくなったからモノクロ。傷付けたくないという母国へのメッセージ…』



2年生の皆さんと鑑賞の授業を行うと、授業者自身毎回新たな気付きや学びが得られます。今後も美術の学習を通して自分や社会とアートのつながりやその価値、自分なりの物事の考え方を発見してほしいと願っています。裏面のアートの役割についての皆さんの考えにもぜひ目を通してみてください。

「ゲルニカ」パブロ・ピカソ作
1937年スペイン内戦のゲルニカ無差別空爆を主題として描かれた。今もなお反戦のメッセージを世界中に訴え続ける衝撃作。



アートの役割ってなんだろう 授業後の考え

伝える・訴える

- ◆社会を動かす。その人の経験や感情を伝える。(浅沼)
- ◆アートの役割は、作者が伝えたいことを何らかの形で訴えることができる。それを見た人の心や感情が動かされて作者の思いを共有する役割があると思った。(竹中)
- ◆アートによって人に自分の気持ちを間接的に伝えられる。(高田拓)
- ◆社会に何かを訴える。人々に自分の気持ちや考えを伝える。戦争などの出来事を、たくさんの人や後世に伝える。(内田)
- ◆作者の思いや願い伝える役割。(永利)
- ◆人に何かを伝える役割。(感性・感情・考え・疑問…etc)(福井)
- ◆相手に自分が考えたことを伝えることができたり、相手を癒やしたり、心を動かすことができる。
(関口)

考える

- ◆作品を見ている人々に考えさせる役割。(金子)
- ◆アートを見た人を幸せにしたり考えさせたり、いろんな世界があるものだと思った。(天野)

与える

- ◆人に感動や勇気を与える。(内田)
- ◆勇気や希望を与えてくれる。(高田望)

表す

- ◆その時の感情、悲しみ、苦しみを表現する。(増木)
- ◆作者が思ったことや感じたことを作者なりに表して見る人に感じてもらう。(川島)
- ◆art は作者の心情を表している。(山田)

色や形

- ◆色にも意味があることが分かった。(倉田)
- ◆色などで相手の心を動かすことができる。(高田望)
- ◆色や形で作者の思いや描いた場所の空気感までわかる。→アートで人に伝えたいことが伝えられる。
(木中)
- ◆自分が伝えたいことは色や形で伝えられるし、それによってガラッと印象が変わる。(関口)

その他

- ◆人それぞれの意見が聞けてとても面白かった。(金子)
- ◆今日の授業でいろいろ学びました。僕もアートをやってみたい。(石渡)
- ◆アートは作者が何を伝えたいか作品を見ながら考えるところにロマンを感じた。(白井)